

令和7年度 運営年間総括

スマイスセレソン内海保育園

はじめに

本園は、社会福祉法人内海福祉会のもと、定員20名の小規模保育園として、一人ひとりの子どもに寄り添う家庭的な保育を実践している。令和7年度においても、「子ども主体の保育」「豊かな体験活動」「地域とのつながり」を基本方針として、子どもたちが安心して生活し、自ら考え行動できる環境づくりに努めた。

基本運営

本年度も保育時間7時30分から18時30分まで（延長保育19時30分まで）の体制を維持し、園だよりや給食だよりの定期発行、連絡帳や送迎時の対話を通じた家庭との連携を継続した。また、年2回の内科健診、年1回の歯科健診、定期的な身体測定を実施し、子どもたちの健康管理に努めた。

安全・危機管理体制

安全管理については、年間を通じて重大事故および重大ヒヤリハットの発生はなく、安全な保育環境を維持することができた。毎月実施する避難訓練では、火災・地震・津波・不審者対応等、様々な状況を想定した訓練を行い、子どもたちの防災意識の向上と職員の危機管理能力の向上を図った。また、日常的な安全点検や園外活動時のリスク管理、感染症対策及び熱中症対策についても継続して取り組んだ。

加えて、苦情や相談については大きな案件はなく、保護者との日常的なコミュニケーションを通じて信頼関係の構築に努めた結果、円滑な園運営を継続することができた。

教育・保育の充実

本年度は「体験から学ぶ保育」を大切にし、異年齢保育の特性を活かしながら、子ども同士が学び合い、支え合う環境づくりを推進した。リズム遊び、マット運動、ボール遊び、散歩活動、季節行事等を通して、心身の健全な発達を促すとともに、「できる・できない」の結果だけではなく、「挑戦することの楽しさ」を感じられる保育を実践した。

本園の特色である課外活動についても継続的に実施し、海や公園、地域施設等を活用した園外活動を通して、子どもたちが自然や地域社会と触れ合う機会を数多く設けた。保護者アンケートにおいても、「毎日楽しく登園している」「課外活動を楽しみにしている」「様々な経験をさせてもらえることに感謝している」といった声が寄せられており、本園が大切にしている体験型保育への高い評価がうかがえた。さらに、「朝練などのおかげで体が丈夫になったと感じる」との意見もあり、日々の運動活動が子どもたちの体力向上につながっていることが確認できた。

英語活動の充実

本年度は英語活動を継続的に実施し、幼少期から異文化や外国語に触れる機会を提供した。歌や遊びを通じて英語に親しみながら学ぶことで、子どもたちの興味関心を広げることができた。保護者からも「英語の勉強を楽しみにしている」との声が寄せられており、新たな学びへの意欲を育む機会となった。

食育の推進

食育活動においては、安全で栄養バランスの取れた給食の提供を継続するとともに、アレルギー児への個別対応を適切に実施した。保護者からは「給食がおいしい」「毎日完食している」といった声も寄せられており、食を通じた健やかな成長を支える取り組みを継続することができた。

家庭との連携

保護者との信頼関係構築を重要な運営方針の一つとして位置付け、日々の送迎時の対話や連絡帳等を通して丁寧な情報共有を行った。保護者アンケートでは、「安心して預けられる」「先生方が親身に対応してくれる」といった評価が寄せられており、職員の丁寧な関わりが保護者の安心感につながっていることがうかがえた。

地域・グループ施設との交流

本年度も地域行事や地域イベントへの参加を継続し、地域とのつながりを深めることができた。また、小学校との連携による交流活動や行事参加を通じて、就学を見据えた取り組みも推進した。

さらに、本年度は他県に所在する同グループ施設との交流を実施した。子どもたちは異なる環境や友達との関わりを経験することで新たな刺激を受け、社会性や適応力を育む機会となった。また、職員同士においても保育実践や運営方法の共有が進み、保育の質向上につながる有意義な交流となった。

組織運営

園長、主任、各担任を中心とした少人数体制のもと、保育・安全管理・保護者対応・環境整備をバランスよく遂行した。職員間の情報共有を密に行いながら、一人ひとりの子どもの状況に応じた柔軟な対応を行うことで、安定した園運営を継続することができた。

総括

令和7年度は、日常保育の充実に加え、地域との交流や他県グループ施設との交流など、新たな学びや経験を創出することができた一年であった。保護者アンケートからも、子どもたちが毎日楽しく登園し、多様な体験活動を通して成長している様子がうかがえる結果となった。

今後も「子ども一人ひとりを大切にする保育」を基本理念とし、家庭・地域・関係機関との連携を深めながら、より質の高い保育環境の実現に努めていきたい。